

## 研究計画概要

助成年度・種別	2019年度 若手研究助成
研究者	大原 天青
所 属	国立武蔵野学院
研究テーマ	非行領域における家族合同ミーティングの実践と効果検証
研究計画概要	<p>本研究の目的は、非行少年とその家族の関係性を修復する手法である「家族合同ミーティング」に関する実践手引きを作成すること、およびこの手法の効果を検証することである。</p> <p>「家族合同ミーティング」の特徴は、非行少年とその家族の問題解決の力を引き出し、過去をふり返る機会、現在を共有する機会、再犯防止やよりよい家族関係の再構築の機会を提供する。この手法は、到達すべき目標とそれを達成するための明確なプロセスを設定し、目標設定と評価を繰り返し、限定された回数の中で問題の解決を目指す短期アプローチである。</p> <p>これまで非行領域における「家族合同ミーティング」の手法を共有するためのツールが少なく、実証的な効果について検証が不十分であった。そこでまず、実践手法の手引きの作成を行い、対象、活用場面、理念、理論、具体的な活用方法を整理することに加えて、映像を通して実際の方法が理解できるようなツールの作成やワークシートの開発を目指す。次に「家族合同ミーティング」の効果検証については、当事者および専門職へのインタビュー調査やアンケート調査を通して実施する。</p> <p>これらによって、非行少年と家族への効果的な支援方法の構築を目指す。</p>
選考委員からのコメント	<p>触法児童や非行少年の再犯防止には、家族への介入が必要である。本研究は、家族療法の理論に準拠した「家族合同ミーティング」の実践を試みようとするものである。2年後の予後の追跡をすることで、効果検証を試みるものである。申請者は一貫して非行臨床を実践し研究してきており、研究成果に期待が持てる。</p>